

安全データシート

Safety Data Sheet

1. 製品名及び会社情報

製品名 : 白馬 業務用剥離剤 ハクリア
 会社名 : 株式会社 万立
 住所 : 大阪府柏原市片山町 13-59
 担当部門 : 技術
 電話番号 : 072-977-0898
 F A X 番号 : 072-977-0899
 推奨用途及び使用上の制限 : 床用剥離剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しないか分類できない
 健康に対する有害性
 急性毒性（経口） : 区分4
 急性毒性（経皮） : 区分3
 急性毒性（吸入 [蒸気]） : 区分3
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
 皮膚感作性 : 区分1
 発がん性 : 区分2
 生殖毒性 : 区分2
 特定標的臓器毒性（単回ばく露）
 （中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓） : 区分1
 （麻酔作用） : 区分3
 特定標的臓器毒性（反復ばく露）
 （中枢神経系、血液系） : 区分1
 （呼吸器） : 区分2
 環境に対する有害性
 水生環境有害性 短期（急性） : 区分2
 水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない
 オゾン層有害性 : 分類できない
 上記、記載のない危険有害性については、分類対象外か分類できない。

ラベル要素 : シンボル



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒
 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 眠気又はめまいのおそれ
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害
 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、血液系の障害

長期にわたる反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
水生生物に毒性

注意書き

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーの吸入をしないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 製造者／供給者または規制当局が指定する保護手袋／衣類および保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 環境への放出を避けること。

【対応】

- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 目に入った場合 : 清水で15分以上注意深く流水洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師に連絡すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。（汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること）
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡し、必要であれば診察、手当を受けること。
- 気分が悪い時 : 医師の診察、手当を受けること。
- 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診察、手当を受けること。

【保管】

涼しいところ／換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、産業物処理法（産業物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を厳守し、適正に処理する。

【使用上の注意】

安全データシート（SDS）を参照して下さい。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 官報公示整理番号（化審法） : 既存
- 官報公示整理番号（安衛法） : 有り
- 成分及び含有量 : エチレングリコールモノノルマル-ブチルエーテル、2-アミノエタノール、グリコール系溶剤
水酸化ナトリウム、ニトリロ三酢酸三ナトリウム-水和物、フッ素系界面活性剤
その他微量成分（染料、香料）、水
- 危険有害性成分 : エチレングリコールモノノルマル-ブチルエーテル
（含有率21.8% CAS番号111-76-2 化審法2-407 安衛法79）
2-アミノエタノール（含有率16.2% CAS番号141-43-5 化審法2-301 安衛法21）
ニトリロ三酢酸三ナトリウム-水和物（含有率1.1% CAS番号18662-53-8 化審法2-1277）

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 被災者は空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗い流す。炎症がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清水で15分以上注意深く流水洗浄後医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具（手袋、眼鏡）を着用する。
医師に対する特別注意事項 : 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。

5. 火災時の処置

消火剤 : 耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水
使ってはならない消火剤 : 情報無し
特有の危険有害性 : 火炎によって刺激性、腐食性または有毒ガスを発生することがある。加熱により容器が爆発するおそれがある
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。安全に対処できるならば着火源を除去する。
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法 : 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
注意事項 : 眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱注意事項 : 作業の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意する。
取扱い後は、手、顔等良く洗い、うがいをする。

保管

適切な保管条件 : 強酸化剤から離し、直射日光を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管する。保管温度は0～30℃が望ましい。

8. 暴露防止及び保護処置

設備対策 : この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼機と安全シャワーを設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
許容濃度 : 設定されていない。
管理濃度 : 設定されていない。
水酸化ナトリウム : 日本産業衛生学会（2009年版）最大許容濃度 2mg/m³
保護具 : 適切な呼吸器保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。
適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
性状 : 透明
色 : 青色
臭気 : データ無し
PH（原液） : 13.0～14.0（原液）
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
沸点 : 約100℃
凝固点 : 0℃以下
引火点 : データ無し
蒸発速度 : データ無し
燃焼性（固体、ガス） : データ無し
燃焼又は爆発特性 : データ無し

蒸気圧	: データ無し
蒸気密度	: データ無し
比重	: 1.025±0.005 (25℃)
溶解温度：水溶解性	: 水と任意に溶解
溶媒溶解性	: データ無し
発火点	: データ無し
自然発火温度	: データ無し
分解温度	: データ無し
その他のデータ	: データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件では安定。
反応性	: 強酸、強酸化剤と激しく反応。
避けるべき条件	: 燃焼、混触危険物質との接触。加熱、火源、混接触物質との接触。
混触危険物質	: 酸、酸化性化合物、強酸化剤、酸塩化物、アルミニウム、銅、真ちゅう、亜鉛、すず及びそれぞれの合金。
危険有害な分解生成物	: 加熱すると分解し、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を生じる。アルミニウム、銅、真ちゅう、亜鉛、すず及びそれらの合金と反応して可燃性の水素ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 混合物判定理論LD50推定値ATEmixが1,893mg/kgあるため区分4とした。
急性毒性（経皮）	: 混合物判定理論LD50推定値ATEmixが870mg/kgあるため区分3とした。
急性毒性（吸入：蒸気）	: 混合物判定理論LD50推定値ATEmixが1,657ppm/4Hであるため区分3とした。
皮膚腐食性/刺激性	: pHが11.5以上である水酸化ナトリウムを1%以上含むため区分1とした。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

: pHが11.5以上である水酸化ナトリウムを1%以上含むため区分1とした。

呼吸器感作性

: 分類できない

皮膚感作性

: 区分1の2-アミノエタノールを1%以上含むため区分1とした。

生殖細胞変異原性

: 分類できない

発ガン性

: 区分2のニトリロ三酢酸三ナトリウム-水和物を1%以上含むため区分2とした。

生殖毒性

: 区分2の2-アミノエタノールを3%以上含むため区分2とした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

: 区分1（中枢神経系、呼吸器）の2-アミノエタノールを16.2%、区分1（血液系、呼吸器、肝臓、腎臓）のエチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテルを21.8%含むため区分1（中枢神経系、血液系、呼吸器、肝臓、腎臓）とした。
区分3（麻酔作用）の成分合計が56.600%であり、濃度限界（20%）以上であるため、区分3（麻酔作用）に該当する。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

: 区分1（血液系）のエチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテルを10%以上含むため区分1（血液系）とした。区分1（中枢神経系）
区分2（呼吸器）の2-アミノエタノールを10%以上含むため区分1（中枢神経系）、区分2（呼吸器）とした。

誤えん有害性

: 分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: (毒性乗率×10×急性区分1) + 急性区分2が25%を超えるため、区分2に該当。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 該当しない
残留性/分解性	: データ無し
生体蓄積性	: データ無し
土壤中の移動性	: データ無し
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物処理業者に特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）として委託し処理すること。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類（Class）: クラス8

国連番号（UN No.）: 3267

国内規則

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている輸送方法に従う。
輸送上特定の安全対策及び条件	: 容器の破損、腐食、漏出等がないことを注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急措置指針番号	: 153

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない。
化審法（第1種指定化学物質）	: 2-アミノエタノール 管理番号20 エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル 管理番号594 ニトリロ三酢酸及びそのナトリウム塩 管理番号698

労働安全衛生法

表示及び通知対象物質	: 2-アミノエタノール（21号）エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル（79号） 水酸化ナトリウム（319号）
有機則（第2種有機溶剤）	: エチレングリコールモノ-ノルマル-ブチルエーテル
毒劇物取締法	: 該当しない。
消防法	: 該当しない。
高圧ガス保安法	: 該当しない。
火薬類取締法	: 該当しない。
船舶安全法	: 腐食性物質
航空法	: 腐食性物質
海洋汚染防止法	: 該当しない。

16. その他の情報

問い合わせ先

会社名	: 株式会社 万立
住所	: 大阪府柏原市片山町13-59
担当	: 技術
電話番号	: 072-977-0898
FAX番号	: 072-977-0899
緊急連絡先	: 072-977-0898

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いいたします。